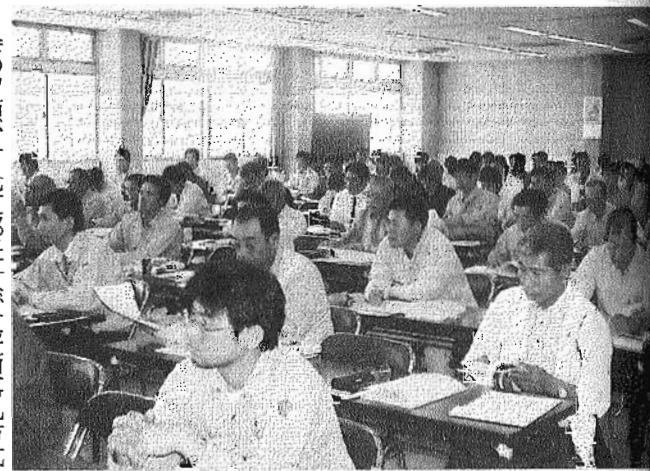


総合評価方式など詳説

道路工事の積算講習会

経済調査会九州支部(有光伸支部長)は6日、鹿児島市のオロシティー会館で「道路工事の積算講習会」を開き、約120人が出席して、道路工事全般の積算基準改訂や総合評価方式などについて学んだ。



道路工事の積算全般について理解を深めた講習会＝鹿児島市のオロシティー会館で

会の冒頭、有光支部長が「長引く景気の低迷で、公共事業の効率的な執行がより一層求められている。本日は、約4年ぶりに改訂・発行された新・道路工事の積算をテキストに、改良、舗装、橋梁などの道路工事の積算全般と最近注目されている

「15年度の積算基準等の改正」や「道路改良、舗装、橋梁の積算」などのほか、国土交通省が11年度から試行を開始し、適用性の拡大を図っている「総合評価方式」などについて、事例を交えながら詳しく解説。参加者は熱心にメモを取っていた。



作業を前に注意事項等の説明を受ける参加者＝松元町の茶山房前で

松元町建設業同友会

農免農道沿い等を清掃

日置郡松元町の直木地区から春山までの農免農道及び日置地区塵芥処理組合クリーンリサイクルセンター前の道路沿いで奉仕活動を実施、会員23社の社員ら総出で草刈りやごみ拾いなどを行い、地域住民に喜ばれた。

土砂災害防止月間

災害への心構えを喚起

作業は、直木地区入口から春山までの農免農道沿いの作業に17社、クリーンリサイクルセンター

及啓発を市民に促した。同セレモニは、梅雨や集中豪雨、台風、地震等により土石流や地すべり、がけ崩れなどの土砂災害が発生し、多くの尊



買い物客らに啓発チラシ等を配るミズ鹿児島＝鹿児島市の山形屋前で

国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所及び県、県土木協会は6日、鹿児島市の山形屋前で、土砂災害防止月間オープニングセレモニーを実施し、防災知識の普

大隅河川国道事務所の永吉修平調査第二課長は「災害はいつ起こるか分からない。災害に対する知識や警戒避難体制への意識付けを啓発することによって被害を最小限に抑えられる」と語った。

県建設業協会大口支部等

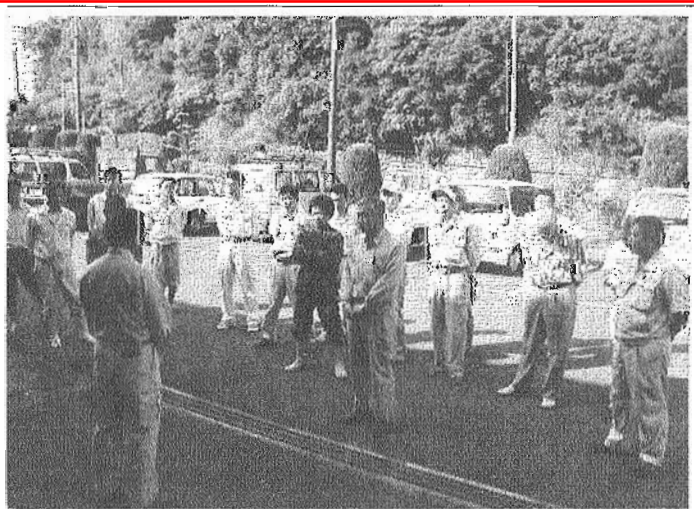
移動水族館に児童大喜び

世界環境デーの5日、県建設業協会大口支部や川内川上流漁協清流会、大口市職員ら約80人が参加して、同市轟公園でごみ拾いや草刈り等の奉仕作業を実施した。また当日は、毎年恒例となった藤井和三郎(株)藤井建設社長の移動水族館も公開され、見学した大口小学校児童らを喜ばせた。



川内川の魚類を説明する藤井社長＝大口市の轟公園で

50秒を超える大きな鯉やなまずなどに目を輝かせ、藤井社長が時折駄洒落を混ぜながら話す興味深い内容に、熱心に聴き入っていた。特に興味で飼っていた外来種を川に捨てたために在来種が脅かされていると説明し「ペットは最後まで責任を持って飼おうね」という藤井社長の言葉には、皆真剣な表情でうなづいていた。



水道課に集合した参加者＝始良町の現地で

始良町管工事組合

中津川浄水場等草刈

始良町管工事組合(原田民義会長)は6日、中津川浄水場など町内の浄水場数箇所、会員21社全員が参加して草刈り等の奉仕作業を実施した。当日午前8時30分、同町水道課に集合した参加者を前に、原田会長が「水道週間行事の一環として、今年は浄水場の清掃を行う。全員が顔を合

た参加者は、早速作業場所へと出発した。このうち中津川浄水場では、朝から真夏のようなた陽が照りつける下、草刈機や草刈鎌を手にした参加者は汗をぬぐいながら、うっそうと生い茂った雑草を黙々と刈り取っていた。また作業の間には短い休憩時間も取り、和やかに談笑して疲れを癒しては、再び炎天下での作業を続けていた。

お手軽で便利な
購読のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100